

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	環境保全課 牧野 直樹	
環境-15	実施事業	まちの美化推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	まちの美化

1 事業の目的

対象	市民等
意図	まちの美化を推進し、快適な生活環境の実現を図る。
効果	ごみの散乱のない快適な環境の保全を図った。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。 ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。 路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。 市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。 まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。 市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。 公衆トイレ(38箇所)の日常清掃業務等を実施した。 いわゆるごみ屋敷の不良な状態の解消を図るための支援及び措置を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	*各年3月31日(住民基本台帳)
世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	68,031	72,301	当初予算(千円)	86,633
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	745	763	その他	2,090
	一般財源	67,286	71,538	一般財源	84,543
	人員配置数	5.0	4.0	人員配置数	4.0
			会計年度任用職員配置数	2.0	
	人件費(千円)	38,559	32,641	人件費(千円)	34,744
事業経費運営	総事業費(千円)	106,590	104,942	総事業費(千円)	121,377
	市民1人当りの経費(円)	604	595	市民1人当りの経費(円)	687
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働: 市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 協働実施済の場合のパートナー キープ鎌倉クリーン推進会議(落書き防止) 鎌倉市まち美化推進員(まちの美化)
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 まちの美化は、継続性をもって取り組むことで効果が維持できることから、予算規模は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・ごみのポイ捨てや落書き防止等の美化活動をまち美化推進員や市民、活動団体とともに啓発活動を行うことなど、環境美化の意識向上に資することができた。まち美化を維持していくには、継続的に市民や市民団体などと連携して各まち美化施策を実施する必要がある。 ・路上喫煙禁止区域の巡回指導を行い、観光客を含む喫煙マナーの向上とごみの散乱のないまちづくりを推進した。 ・不法投棄物については、公共用地への投棄が散見されることから、各管理者に適正な用地管理を促すとともに、市民からの通報に早期に対応し、状況の改善に貢献した。 ・喫煙マナーは向上しているが、依然としてたばこのポイ捨てはある。喫煙者と非喫煙者の共存を図りつつ、今後も屋内型喫煙所の設置、管理を検討する必要がある。 ・公衆トイレの巡回パトロールを実施し、清掃と小破修繕等を適切に行い、清潔で快適なトイレの維持管理を図っている。依然故意による破損が生じその対応に追われて、継続し修繕費用も発生している。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	・散乱ごみや不法投棄の件数は、年々減少傾向にあるが、完全な防止には至っていない。引き続き、不法投棄等の周知・注意喚起活動を行う必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄物については、県と定期的なパトロールを実施し、通報や情報提供等の連携を図り対応した。 ・来訪者へのごみの持ち帰りやごみの散乱防止の周知・啓発活動の充実を図るため、まち中の清掃活動や落書き防止等の美化活動を、まち美化推進員や市民、活動団体とともにを行い、環境美化の取組を推進した。 ・路上喫煙禁止区域の巡回注意喚起を行うとともに、屋内型喫煙所の設置について検討し、観光客を含め喫煙マナーの向上とポイ捨て防止の周知啓発に取り組んだ。 ・公衆トイレ設置課と連携して、公衆トイレの改修を行い、トイレの清掃回数の増加や臭気対策を行うなど、トイレの快適化を図った。 ・あわせて職員による清掃業務点検を実施し、清掃業務内容の確認及び設備点検を行い、定期的なメンテナンスを行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・継続して、ポイ捨てごみや不法投棄等の防止について周知・注意喚起活動を行う必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	落書きの消去率						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				R元年度 282件/282件
落書きの消去率向上が、新たな落書き発生の抑止力となるため。	目標値	98.0	98.0	99.0	99.0	100.0	100.0				
	実績値	100.0	99.2	100.0	99.7	100.0	100.0				
	達成率	102.0%	101.2%	101.0%	100.7%	100.0%	100.0%				

指標の内容	不法投棄の処理件数						単位	件	指標の傾向	⇩	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
不法投棄件数の減少傾向が、防止対策効果を表すため。	目標値	80	80	70	60	50	40				
	実績値	61	73	56	37	36	22				
	達成率	131.1%	109.6%	125.0%	162.2%	138.9%	181.8%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>指標の推移から目標は、達成されていると考えている。今後も継続していくことが重要と考える。</p> <p>落書きの消去は、市民団体との連携による効果が出ており、今後も落書きの違法性について周知を図り、落書きの発生抑制についても対応していく。</p> <p>不法投棄については、確実に減少してきているが、今後も不法投棄されにくい環境の確保に向けて、継続して周知啓発に取り組んでいく。</p>
-----------------------	--